

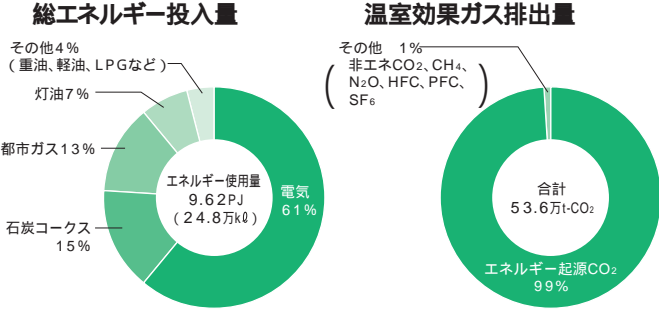
地球温暖化の防止

温室効果ガスの削減活動

2007年度の目標

- ・ CO₂排出原単位(CO₂排出量 / 内作生産高).....前年度比 1%削減
- ・ CO₂排出量(クボタグループ総排出量) 1990年度以下
- ・ 物流CO₂排出原単位(CO₂排出量 / 輸送トンキロ)前年度比 1%削減

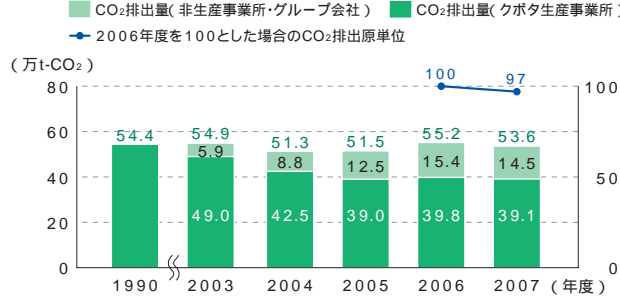
総エネルギー投入量と温室効果ガス排出量



(熱量の単位 PJ=10¹⁵J)
上図の数値以外に太陽光発電量(5万kWh)があります。

総エネルギー投入量は9.62PJでした。温室効果ガス排出量は53.6万t-CO₂で、1990年度比1%減、CO₂排出原単位は前年度比3%減となり、目標を達成しました。これは、コンプレッサーの効率的運用、設備導入・更新時における高効率機器の導入、塗装乾燥炉の灯油からガスへの燃料転換、サイクルタイムの短縮等の省エネ

温室効果ガス排出量とCO₂排出原単位の推移

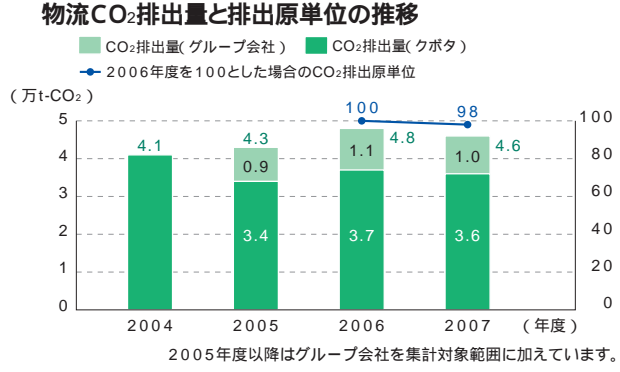
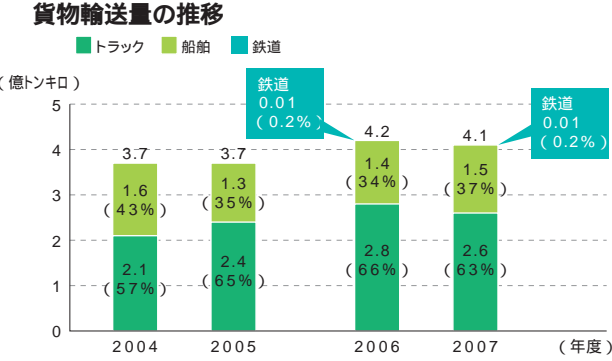


2003年度以降は非生産事業所およびグループ会社を集計範囲に加え、対象事業所数を段階的に拡大しています。本年度より、2003年12月に分社独立した住宅建材部門のCO₂排出量を除いており、その結果、1990年度および2003年度のCO₂排出量が過去に開示した値よりも小さくなっています。

ギー対策などによります。温室効果ガス排出量の99%はエネルギー起源CO₂です。また、コージェネレーションによる自家発電量は209万kWhで、廃熱を有効利用しています。

物流におけるCO₂排出量 (荷主としての貨物輸送量とCO₂排出量)

国内における荷主としての貨物輸送量は4.1億トンキロで、その貨物輸送によるCO₂排出量は4.6万t-CO₂となりました。また、物流CO₂排出原単位は、前年度比で2%低減しました。



2005年度以降はグループ会社を集計対象範囲に加えています。